

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民病院 事務局	内線等	95 -1224
事務事業名	病院防災訓練、啓発事業		事業コード	2 . 内部管理事務事業
根拠法令等	消防法他		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のために
手 段	病院職員が病院内で防災訓練を行い、意識啓発することによって
想定する成果	災害時に、患者の安全を確保し一定の医療サービスを提供する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
訓練種類	基礎災害訓練 1回	基礎災害訓練 1回	基礎災害訓練 1回
	地震訓練 1回	地震訓練 1回	地震訓練 1回
	火災訓練 1回	火災訓練 1回	火災訓練 1回

成果指標

成果指標名	訓練回数	訓練参加率
成果指標の説明	経験の積み重ねが適切な対応につながるため	参加人員（延） / 職員数 × 100（％）

事業の進捗状況 （ 病院事業 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		3回				3回				3回			
成果指標		約40%				約40%				約40%			
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	778				781				785			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	778				781				785			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	地震対応マニュアルが策定しており、定期的に訓練を実施している。
経済効率性	2	2	2	3	
事務効率性	2	2	2	2	時間の制約上、年3回の訓練で適正で効果的な内容で実施することが必要。
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	7	10	7	11	
施策への貢献度	2	-	2	-	災害時における病院機能の保持及び患者の安全の確保等において意義がある。
合計	9	10	9	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	A	A	防災訓練は特定訓練(年度計画の3回)で実施しているが、その内容が実際の災害時に直ちに役に立つものかを検討する必要があると思われる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
災害に対する備えの基となる消防計画及び地震対応マニュアルをいかに個々の職員が自分のものとし、常に危機意識を持つことが必要となる。また、訓練教育を実施していく中で消防計画及び地震対応マニュアルの見直しも行うことが大切となる。訓練参加率は延べで40%であるが、全員参加の点で問題を残しているため多くの参加が出来る方法が求められる。
上記改善点の実施状況
病院職員の特殊な勤務条件により全員参加の訓練実施は困難で、実施できていない。

今後さらに改善すべき点

災害時に本当に役に立つ訓練の検討。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

